2026年｜すみだ北斎美術館 開館10周年記念 連携事業

葛飾北斎の逸話を弘前ねぷたの技で再現

だるま絵制作実演

葛飾北斎とだるま絵

1817年、世界的な画家「葛飾北斎」は名古屋で、120畳（縦約18メートル・横約11メートル）の巨大なだるま絵を公開制作しました。多くの人々がその制作を見守り、驚いたことが記録されています。

葛飾北斎の逸話を、ねぷた絵師 三浦呑龍氏がねぷた絵の技法を使って再現する「だるま絵制作実演」を実施しますので、是非お越しください。

開催日時

11月7日（土）

制作実演　10:30～16:30
※制作実演が早く終わった場合、作品を展示します。

11月8日（日）

完成作品展示　10:00～16:30

会場　弘前文化センター 2階・小ホール

（弘前市下白銀町１９－４）

入場料等　無料、撮影OK

完成イメージ図



弘前と墨田のつながり

すみだ北斎美術館は、人生のほとんどを墨田区で過ごした世界的な画家「葛飾北斎」やその門人の作品を紹介している美術館であり、今年で開館１０周年となります。

美術館のある土地は、かつて弘前藩津軽家の上屋敷（大名の江戸での生活拠点）があった場所であることや、弘前の夏の風物詩である「弘前ねぷたまつり」のねぷた絵は、北斎をはじめとする浮世絵が手本となったと言われていることなど、弘前と墨田には歴史的なつながりがあります。その縁から、墨田区で開催される「北斎祭り」でねぷた運行を実施するなど、弘前と墨田で交流を行っています。

120畳のだるま絵の完成を目指して

10月25日、墨田区において「だるま絵制作実演」を実施しましたが、当日は悪天候により限られたスペースで実施したため、残念ながら一部分のみの制作となりました。

この度、弘前市でも「だるま絵制作実演」を行い、120畳の絵を完成させます。



10月25日　墨田区でのだるま絵制作実演の様子

主催・お問い合わせ　弘前観光プロモーション実行委員会（事務局：弘前市観光課）　TEL 0172-40-0236